

- 代表質問は、交渉団体会派（所属議員が2名以上の会派）が、年1回12月定例会及び一般選挙後最初の定例会で行います。
- 各会派の質問時間は、会派所属議員数で異なり【基礎時間40分+（会派所属議員数-1）×5分】により算出されます。

市政敬和会

質問者 青柳 充茂

白木俊嗣・樋口光久
井野兼一

質問時間55分

公金横領 事件の徹底 説明を

◆公金横領事件の対応は
問 公金横領事件では、収入役が横領を初回に発見出来ず、その後も何回も見逃してしまった責任は大きい。助役は公

◆現計画の撤回の考えは
問 仮称・市民交流センターの計画に市民の声が十分反映されていない。活性化に裏づけがない。この際、現計画は白紙撤回し、中心市街地活性化は図書館と切り離し、商工会議所をTMOに認定して高齢者が集い楽しみたくなるまちというまちづくりのコンセプトの明確化を提案する。
答 市民の意見を取り入れ進化したものが今の計画。来年の早い段階で、組合設立など具体化したい。



10月28日開催 市民の声を聴く会

◆市内道路の現状把握対策は
問 市内道路の現状把握はどうか。

答 金横領の職員をいつまでも通常勤務させた責任がある。事件を公表せず、8月7日から一週間の海外旅行をした市長は、事件の解決より休暇の方が大切だったのか。直ぐに警察に報告していたら、その後の事件は全て防げたはずだ。事実を素直に認め、やるべき基本を徹底することが本当の再発防止策ではないか。
◆税の滞納額は
答 その通りだが結果論だ。
問 税の滞納額の推移はどうか。
答 滞納額は市税が6億6千万円、国保税が4億4千万円といずれも増えている。

◆ごみ処理有料化とプラ分別の効果は。課題は何か。

答 2ヶ月で燃えるごみが30%減少した。市民の理解、協力に感謝する。今後は、事業所における燃えるごみ減量施策と生ごみ対策。堆肥化やバイオマスエネルギーなどの調査研究を進めたい。

◆不登校の実態は
問 不登校の実態はどうか。対策の見直しは。
答 小学校では横ばい、中学校では増加、県全体と同様の傾向だ。スクールカウンセラー、高ボッチ教室の指導員、関係者一丸となった積極的活動の成果が挙がっている。
◆農業の現状認識は
問 農業は危機的状況と何がどういう認識か。
答 今年は特に蔬菜売り上げが前年比30%減となるなど厳しかった。集団営農、地産地消、ブランド化等々、農家、JA等との連携を一層密にして取り組みたい。

◆納税率向上の施策等は
問 納税率向上の施策として滞納整理機構等へ参加は。
答 広域的な滞納整理機構の設立の動向があれば、本市としても、参加を検討していく。
◆新年度予算の新規事業は
問 18年度の新規事業は何か。

◆各税の収納率と未収金は
問 市民税、国保税等の収納状況と未収金の現状は。
答 16年度の市税の収納率は98.40%、未収金6億6千万円余、国保税92.23%、4億4千万円余の未収となっている。
◆納期の選択は可能か
問 納期内の納付が困難の場合、納期の選択は可能か。
答 年度内での分割による納付ができるよう納税相談等を実施し、対応している。

市民派連合

質問者 今井 英雄

丸山寿子 永田公由
小野光明

質問時間55分

滞納整理機構へ 参加を検討